



発行所 郵便番号 260-0013
千葉市中央区中央4丁目14番10
千葉日報社
電話 043(222)9211

©2022

5月6日(金)

県内の天気

北西部
予想気温
最高 24
最低 17
降水確率
6時 0 12 0 18 10 24
風向
波 0.5m

北東部
予想気温
最高 21
最低 16
降水確率
6時 0 12 0 18 20 24
風向
波 1.5m

南部
予想気温
最高 21
最低 16
降水確率
6時 0 12 0 18 20 24
風向
波 2~3m

猪口氏 得意の外交で力

「過去に政変が起きたのは参院選で負けた時。昨年の衆院選は勝ったが自民・公明連立政権安定へ、参院選は何としても勝利する」

4月16日、3年ぶりに党員らが出席するフルスベックが開かれた自民党県連大会で、浜田靖一会長はひととき高い声を張り上げた。

大会後、報道陣の前に厳しい表情で「2議席維持は簡単ではない。それでも勝ち抜いてきたのも事実」と述べ、参院選千葉選挙区(改選数3)で2013年から続く「自民2議席」への決意を示した。

擁立するのは、現職の猪口邦子氏(70)と、立候補を見送る現職の元栄太一郎氏(46)の1期後の後任として元県議で新人の臼井正一氏(47)の2人。

同党県連は公明党県本部との連携も重視し、両党県トップは

臼井氏 県議経験バネに

大会から日を置かず選挙協力することで合意。政権安定を目指す戦いへ、着々と準備を進める。

外交分野を得意とし初代少子化担当を務め、抜群の知名度を誇る猪口氏だが、3期目への活動は新人並みに地道に続ける。日課となった朝夕の街頭演説では、のぼり旗を片手に政策を訴えてきた。自民県議が「輝かしい経歴があっても初めての選挙のように汗をかいている」

と驚いても、「私の活動はオーソドックス。これまでで一番厳しい選挙になるが、現職の意地がある」と隙を見せない。演説では、ロシアによるウクライナ侵攻など混迷極まる世界情勢について熱心に語る。「内政と外交はつながっている。国際社会がロシアへの対応を誤れば、子や孫の世代の平和が脅かされる。今はまさに『戦争と平和の分水嶺』にある」と分かりやすく訴える。

自ら動き回る一方で、陣営を支える県議との連携強化にも努めてきた。県議会の自民党代表質問の際は毎回本会議場に足を運び、政策や思いを直接聞いた。ひたむきな猪口氏を、県議会自民党に二つある派閥のうち7割超が所属する大派閥「自民党ちば」の議員の多くが支える。

4月24日の後援会事務所開きには衆院議員のほか、県議約30人が出席。派閥会長の酒井茂英県議は、臼井氏支援を検討する動きを制するように「各議員が持ち場をしっかりと守ることだ」と結束を求めた。



街頭演説で、有権者に政策を熱く語る猪口氏(左) 5日、JR船橋駅前

2022 ちば参院選 臨戦態勢